



あけましておめでとうございます ～「一年の計は元旦にあり」「有終の美」～

令和4年の幕開け、そして、第3学期のスタートです。今年もどうぞよろしくお祈りします。

さて、今年の冬休みは、コロナ新規感染者の増加傾向、オミクロン株への置き換わりなども気にかかり、これまで通りとはいかなかったところもあったかとは思いますが、いかがだったでしょうか。そんな中であっても、子ども達にとっては有意義な時間、楽しい思い出ができた時間となったことと思っています。

2学期末に子ども達と約束をしました。「死なないこと」でした。結果は・・・子ども達は全員冬休み中、しっかりと命を守り通しました。コロナ対応もしっかり行ったようで、ホッとしました。しかし、予断を許さない状況には変わりありません。今学期も一人一人ができることを継続していかなければなりません。マスク、手洗い、換気、3密回避、具合の悪い場合（同居家族含む）の登校回避等、できることは限られていますが、気を抜かず、しっかりと対応を継続していかなければならないと思っています。どうぞよろしくお祈りします。

始業式では校長との約束を守ってくれたことのお礼に続き、この言葉と意味を紹介しました。

「一年の計は元旦にあり」

（ことに当たっては最初しっかりと計画を立ててから臨むことが大切であること）

「有終の美」

（物事をやりとおし、最後をりっぱに仕上げること。

結果がりっぱであること）

そして、「学校は北小の子どもたちを全力で応援すること」を子どもたちの前で誓いました。さらに、あらためて「自分の命は自分で守る。他の人の命は傷つけない（命＝体・心）」ことを確認しました。

北小は3年生への転入生、ネパールから5年生への編入生を加え369名になりました。3学期49日間、まともに向けて全力で取り組んでいきます。ご家庭でも子ども達を励ましなが、見守ってあげてください。どうぞよろしくお祈りします。

始業式の後は、「登校班会議」を行いました。安全な登校にむけて、全校生で確認しました。

※ネパールからの編入生はまだまだ、日本語が理解できない状況です。当初は日本語指導を中心に行いながら、徐々に体育や音楽などの教科学習も取り入れ、日本の学校に慣れていってほしいと思っています。子どもたちには日常的な交流を通して、自然な形で国際理解が進んでいくことを期待しています。



北っ子のがんばりにみんなで拍手 ～賞状紹介～

始業式の後、賞状の紹介を行いました。+αの行動が結果に結びついたものと考えます。おめでとうございます。（敬称略）

【第1回福島県U12ウインターカップ選手権大会】

女子の部 第1位

二本松女子ミニバスケットボールクラブスポーツ少年団

